



三中 TIMES (タイムズ)

摂津市学園町 1 丁目 3 番 1 号 摂津市立第三中学校
令和 6 年 1 月号 TEL:072-633-0007 FAX:072-633-0008

三中 web サイト



教育委員会
YouTube チャンネル



これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず

BIG BOSS 若狭孝太郎

明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、清々しい新春をお迎えのことと存じます。旧年中は、本校教育活動へご理解・ご協力いただき、心よりお礼申し上げます。生徒の皆さん、一陽来復の日から続いた冬休みを、それぞれの「春」へ向けての日々として過ごすことはできましたか。さあ、3学期が始まりました。

小6の時に少年ジャンプで、諸星大二郎のSF漫画「生物都市」(第7回手塚賞入選作品)を読んだ。衝撃だった。…以来、気になる漫画家の一人になった。中2で始まった「暗黒神話」の連載。単行本を買い(理解できない部分があるので)何回も何回も読んだ。日本神話に興味があって別の本で調べてみた。新しい知識を持って再び「暗黒神話」を読んだ。なるほど。分かる、発見がある。どんどん楽しくなった。

中3の時に「孔子暗黒伝」の連載が始まった。大きな期待。でも、漫画の時代背景も登場人物もほとんど分からず、読むのを止めてしまった。

ところが、である。晴れてスタートした高校生活で再会するのである。孔子と。「古文」の授業で(孔子の言葉を弟子がまとめた)「論語」が登場する。「故きを温めて新しきを知る」とか「とも遠方より来たるあり、また楽しからずや」である。さらに高2の「倫理社会」で世界の哲学者や思想家について学んだ。儒教の創始者であり、釈迦、キリスト、ソクラテスと合わせて4大聖人の一人に数えられる孔子をしっかりと学んだのだ。…その後に私が「孔子暗黒伝」の単行本を楽しく読み出したのは言うまでもない…。

タイトルは、「論語」で紹介される孔子の言葉です。あることについて知識があって理解している人は、そのことを好きな人にはかなわない。さらに、あることを好きな人も、それを楽しんでいる人には及ばない。という意味です。単に勉強して知識を増やす人よりも、その教科や単元を好きになって勉強している人の方が成果を上げる。さらに楽しんで勉強している人の方がもっと成果を上げる。ということですね。これはスポーツでも芸術でもそれ以外のいろいろな技術でも同じでしょう。皆さんも、そういうことをなんとなく実感してきたはずですよ。何かに取り組むときに、何かに挑戦しているときに、楽しむ姿勢を持つことがとても大切だということですよ。ただ、かつての私が経験したように、楽しむためには「興味・関心」や「知識・技能」も必要でしょう。そんなに簡単には楽しめないのです。でもね、皆さんが本気になって自ら動き出しさえすれば、気がつけば「楽しめる位置」まで来ていることって、意外に多いんですよ。

そう。その気になれば、受験勉強さえ楽しめるんです。そして、楽しんだ者には誰もかなわないのです。三中生の皆さん、ちょっと意識して3学期を過ごしてみませんか。

1月の予定

給食

※冬休み号の1月予定表から次の行事を追加しました。

9日	火	始業式	
10日	水	1,2年チャレンジテスト、3年第4回実力考査(~11)	1,2年○
11日	木	3年実力考査・短縮授業	1,2年○
12日	金	英検	○
13日	土		
14日	日		
15日	月	生徒会委員会	○
16日	火		○
17日	水	避難訓練	○
18日	木	朝のつどい	○
19日	金		○
20日	土		
21日	日		
22日	月	生徒会委員会	○
23日	火	私立出願 生徒会サミット	○
24日	水		○
25日	木	留学生交流(2年)	○
26日	金	人権学習(2年)	○
27日	土		
28日	日		
29日	月	3年学年末考査(~31日) 乗り入れスクール	1,2年○
30日	火		1,2年○
31日	水		1,2年○

1月25日 留学生交流授業

2年英語科では、アメリカの大学生との交流授業を企画しました。大阪学院大学のCET アカデミックプログラムを通じて日本語学習を目的に来日している短期留学生の方々をお迎えします。学習班ごとに日本の学校や文化、慣習など様々なことを伝え、日本のことを好きになってもらうためのプレゼンテーションに取り組みます。

また、昼食をともに過ごすことにより、互いの共通点や相違点を知り、国内で過ごす日常とは違う

国際感覚に触れる機会
としたいと思
います。



1月26日 2年人権学習「ゆめ風中学生プロジェクト」避難訓練体験

※「いのちと防災を考えるゆめ風中学生プロジェクト」とは…

NPO 法人「ゆめ風基金」によるプロジェクトです。「ゆめ風基金」とは阪神淡路大震災が起きた1995年に被災した障害者の救援と復興支援を目的に発足したNPO 法人です。今回、「ゆめ風基金」認定NPO 法人「おおさか行動する障害者応援センター」の方々にご協力をお願いしました。災害が起こった時に、地域にいて一番頼りになる中学生に障害者のことをもっと理解してもらえればと、避難訓練体験の授業を快く引き受けてくださっています。

さまざまな障がいを抱えていらっしゃるの方と実際にコミュニケーションをとり、避難訓練を体験することを通して、障がいを理解し、自分ができる支援、配慮を考え、生きていく上でのつながりの大切さを学ぶ機会としたいと思います。

また、取り組みを通して、本当の「自立」とは、助けが必要なときに、助けを求め、お互いに支え合う心を持つことであることを学び、自分自身の生き方に生かすとともに、次年度の進路決定に向けて支え合い、助け合える仲間づくりにつなげていきたいと考えています。

